

田中しんすけ

市議として4期目がスタート!
これからも議会で地域で全力投球!!

掲載記事

- ◆ 福岡市動物園の現状と今後の展望について
- ◆ 生活被害を予防する「カラス対策」の必要性について
- ◆ 生活環境委員会への配属が決定!

元気よく!!
胸を張って



4期目のご挨拶

新たな任期を迎えて

2019年4月7日に行われた福岡市議会議員選挙において、田中しんすけは4期目の議席を賜りました。これまでの議会や地域における様々な取り組みを評価頂いたことに対して、嬉しい思いと同時に、とても身の引き締まる思いでもあります。

また、福岡市議会においては、会派・福岡市民クラブ(10名)の代表を務めることになりました。所属議員の過半数が新人議員ということもあり大変やりがいのある環境ですが、市議会における議論をリードしていく議員集団として認知されるよう、会派運営に努めてまいります。そして、今年は常任委員会(生活環境委員会)の委員長も拝命いたしました。

皆様からの大きなご負託にしっかりと応えられるよう、これからも「胸を張って元気よく!!」議会で地域で全力投球してまいります!



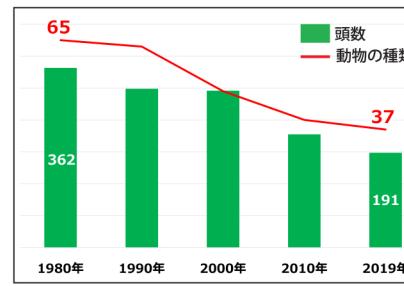
福岡市動物園の現状と今後の展望について もっとたくさんの動物で賑わう園を目指して!

議会活動

哺乳類動物を増やしていくために!

最近、「今の福岡市動物園は動物が少なくなっている」という声が多く寄せられるようになりました。実際に、大型動物を含む哺乳類の種類や頭数を調べてみると、40年前と比較して、種類については約4割の減少、頭数についてはほぼ半減となっていることが分かりました。

ゾウ、サイ、ゴリラといった大型動物を導入するためには、保護繁殖に適する飼育環境を整えることが必要。そのためにも、動物専門員をはじめとした「希少哺乳類の保護・繁殖を担う人材」の確保など、飼育環境の充実に向けた取り組みを要望しました。



▲哺乳類動物は種類も頭数も年々減少している!

ミャンマーからのアジアゾウ導入に期待!

もう一つ、動物の種類と数を増やすためには海外との交流や連携も重要であり、本市もこれまで、2001年にスペインのバルセロナ動物園からゴリラを導入したり、今年はマレーシアのタイピン市と動物園交流の覚書を締結したりと、積極的に取り組んできました。

そのような中で、福岡市は現在、ミャンマーからアジアゾウを導入するため協議を行なっているところです。ゾウの保護繁殖のためには、群れ飼育できる空間の確保や行動欲求を満たせる十分な環境の確保が不可欠。既存のゾウ舎の拡充にも大いに期待したいです!



▲一日も早いアジアゾウの導入が期待されます!



カラスによる生活被害を防ぐために!

都市部における「カラス対策」の必要性を訴えました!



カラスによる生活被害が激増中!?
地域相談をきっかけに議会で質問!

最近、カラスが人を襲ったり、ゴミを荒らしたり、フンで汚したりして困っているという相談が急激に増えてきたように感じます。私の地元である平尾地域において、これまでカラスによる生活被害を近隣で見聞きすることはあまりなかったのですが、今年に入ってからというもの、ゴミを荒らしているという相談に加えて「フンで道が汚い」という通報が増えてきました。

そして何よりも驚くべきは、「カラスに襲われた」「大群をなして木々に止まつて恐ろしい」という、これまで寄せられることが無かった相談が本当にたくさん寄せられるようになったという点です。

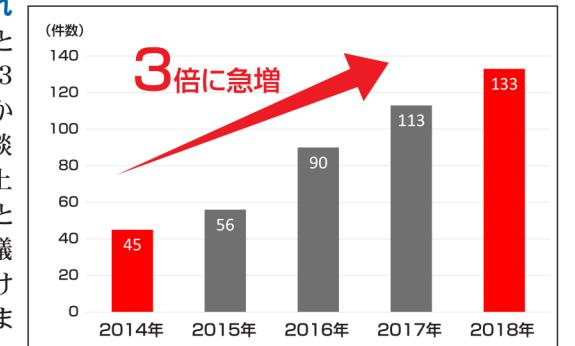
そこで、今回の議会質問では、カラスによる生活被害の実態について福岡市と議論を交わしました。

▲カラス被害に悩まされる地域住民

相談件数はこの5年間で3倍に!

今回の一般質問で、「市民からのカラス被害に関する相談件数」を尋ねたところ、ここ5年間で474件も寄せられているとの答弁が。とりわけ、5年前と比較すると相談件数は3倍以上に増えているという実態が明らかになりました。

さらに、カラスによる相談内容の内訳を見ると、最も多いのが『恐怖を感じる・襲われた(130件)』。次いで、『巣を撤去してほしい(97件)』、『ゴミを荒らされている(90件)』となっており、この3つだけで、市民から寄せられた相談全体の7割以上を占めていることが、今回の私の議会質問をきっかけに新たに判明しました。



▲カラスの生活被害に関する相談件数の推移(福岡市)



福岡市議会・常任委員会
生活環境委員会への配属が決定!

2019年5月20日に召集された臨時議会において、田中しんすけは「生活環境委員会(12名)」への配属が決定し、今期最初の委員長を務めることになりました。

生活環境委員会が所管する行政部局は、道路下水道局、環境局、水道局、交通局、消防局です。地域の生活道路や交差点改良、ゴミ減量に関する取組みや安全な水の供給、市営地下鉄の利便性向上や消防・救急体制の機能拡充など、担当する領域は広範囲ですが、いずれも市民生活に密着する行政事項を専門的に審査する委員会です。

初年度は委員長としての役割が、諸議案に対して、活発な議論が行われるよう委員会をコーディネートしていきます!



▲消防団の一員としても頑張ります!



カラスによる生活被害を防ぐために
抜本的な対策が急務!

今回の議会質問を通して分かったことは、これまで本市のカラス対策は農作物被害への対応が中心で、カラスによる生活被害に対してはその場その場の対応にとどまっており、根本的な解消に向けての取り組みがほとんど見られないということです。

そこで、「まずはカラスによる生活被害の実態を詳細に調査・把握し、本市が独自に被害を未然に防ぐための抜本的な対策を練るべき」と主張。これに対して当局からは「国や他都市の事例を参考に、カラス被害防止に向けた取り組みをしっかり検討したい」と積極的な答弁がなされました。

私は、本市においてカラスによる街中の生活被害がこれから深刻になってくるのではないかと危惧しています。市民を襲撃する事案を解消することはもちろん、現在は自己負担となっている巣の撤去に加えて、本市が何らかの支援制度を検討すべきです。市民の安心安全な暮らしを担保するためにも、早急なカラス対策が急がれます。



▲カラスの巣を撤去するための補助制度が望まれます!

私の思いや日々の活動を

LINE@ で配信中

登録 お願いします!



1978年6月14日生(41歳)

西高宮小学校	卒業 1991年	早稲田大学大学院 修了 2004年
西南学院中学校	卒業 1994年	アクセンチュア(株) 入社
筑紫丘高等学校	卒業 1997年	福岡市議会議員4期 当選 2019年
九州大学法学部	卒業 2001年	

田中しんすけ市政相談所

TEL:092-521-3650 FAX:092-521-5221 E-mail:info@tanakashinsuke.jp

福岡市民クラブ、新体制でスタート!



私たちは、働く者・生活者の目線で議会活動に取り組む会派であり、今期は、立憲民主党、国民民主党、社会民主党の党籍を持った10名の議員で構成することとなりました。先の市議会議員選挙でお示した『会派基本政策2019』に基づき、

- ①一人ひとりの命と幸せを大切にする社会
- ②人と技術の結びつきが新たな価値を生み出す創造都市
- ③市民が自ら発言し、議論し、決定する仕組みづくり
- ④一人ひとりの生命と尊厳を守り、誰もが安心できる共生社会

という4つの柱を共有し、その実現に向けて全員一丸となって取り組んでまいります。

また、市長の提案に対しては、皆様の声に耳を傾けながら「是々非々」の態度でのぞみ、健全な二元代表制に向けて議会の役割を果たしてまいります。私たち市議会議員は、皆様からの負託を受けて議会で発言する「代弁者」であるとともに、この福岡市で暮らし、皆様とともに地域社会を支える「地域の一員」でもあります。どうぞ、それぞれの行政区で活動する福岡市民クラブ所属議員に気軽にお声かけいただき、皆様の声をお聞かせください。

これからも、皆様から寄せられた一つひとつの声を議会に届けるとともに、その実現に向けて地道にひたむきに取り組んでまいります。

福岡市民クラブ一同

令和元年度 第3回福岡市議会(6月定例会)開催

第3回定例会(6月13日~24日)が召集され、令和元年度一般会計補正予算案の他、条例の制定、改正等、全36議案について審議しました。中でも、福岡市宿泊税条例が新たに制定されましたので、ご報告いたします。

福岡市宿泊税条例案

本条例は、平成30年度第4回定例議会にて議員提案により議決した「福岡市観光振興条例」の規定に基づくもので、市は、宿泊事業者などから広く意見を募集するとともに、昨年10月に設置した「福岡市宿泊税に

条例の主なポイント

納稅義務者:宿泊施設において、宿泊料金を受けて行われる宿泊に対し、宿泊者に課するものとする。

税率(税額):宿泊者1人1泊につき、以下のとおりとする。

宿泊料金	税率
20,000円未満	150円
20,000円以上	450円

参考	
県宿泊税	合計
50円	200円
50円	500円

特別徴収義務者:宿泊税は、特別徴収の方法によって徴収するものとし、特別徴収義務者は、旅館業又は住宅宿泊事業の経営者等とする。

県宿泊税の徴収:福岡県が市内の宿泊施設に県宿泊税を課す場合、福岡市が市の徴収と併せて行う。

入湯税の見直し:宿泊税を課する間は、入湯税を下記の通りとする。

<改正前>		<改正後>	
入湯客1人1日	日帰り入湯客	入湯客1人1日	日帰り入湯客
150円	50円		50円

納稅者の理解と協力を活かす観光振興を!

議案質疑 [6月13日] 近藤 里美 (南区)



観光振興条例に基づく施策の財源として導入する宿泊税ですが、その徴収の運用については、旅館業・住宅宿泊業の事業者の協力があってこそだと言えます。宿泊税の用途として特別徴収義務者の費用負担に対する補助の実施について確認したところ、「福岡市においても、導入先行自治体を参考に支援を検討していく」との回答を得ました。

納稅者に対しては、宿泊税の目的や使途を明確にするとともに、活用結果とその成果を広く広報し、理解を求めることが重要です。さらに、宿泊税は目的税であることから、本市の他の一般施策に充當しないということを、明らかにすることが望ましいと考え、基金の設置などの対応策を検討するよう要望しました。納稅者や市民の声を観光施策に活かすとともに取り組みの見える化によって、「税」=「負担増」というマイナスを転換し、福岡市が選ばれるような観光振興施策に取り組むべきと訴えました。

生活被害を防ぐため「カラス対策」を急げ!

一般質問 [6月14日] 田中 しんすけ (中央区)



今回の質問では、生活被害を未然に防ぐための「カラス対策の必要性」を訴えました。

近年、「カラスに襲われる」「近くに巣があるので撤去してほしい」といった市民相談が急増している現状を指摘。これまで本市のカラス対策は農作物被害への対応が中心であり、生活被害に関しては注意喚起にとどまっていたため、「まずはカラスによる生活被害の実態を調査・把握し、被害を未然に防ぐための抜本的な対策を練るべき」と主張。これに対して当局からは「国や他都市の事例を参考に、カラス被害防止に向けた取り組みをしっかりと検討したい」と積極的な答弁を得ました。

また、『福岡市動物園の現状と課題』については、ゾウやゴリラ、サイなどの希少哺乳類を中心に動物の数が年々減少している実態を指摘。動物の種類・頭数を増やすとともに、動物専門員をはじめとした「希少哺乳類の保護・繁殖を担う人材」の確保など、飼育環境の充実に向けた取り組みを要望しました。

共に生きる社会の実現に向けて

一般質問 [6月17日] 宮浦 寛 (早良区)



【人口減少が進む早良区南部の地域拠点施設について】「日本一元気な都市」と市長も自負する福岡市にあって、早良区南部はこの10年間で3.5%も人口が減少している現実を指摘。当地に新設される交流センターは、高齢化・災害対策や農林業支援等の地域課題にどのような役割を果たすのかについて質しました。【人権行政の推進について】本市における人権問題の現状認識を問うとともに、人権行政のさらなる推進について市の考えを聞きました。また、被差別の当事者の方々から意見聴取を行なうながら教育施策や市民啓発を進めていくことの重要性を指摘し、次期実施計画の充実を求めました。【支援を要する児童・生徒の就学について】学校生活支援員制度の充実と肢体不自由の児童生徒のためのエレベーター設置校の増設も含め、障がいの有無によらず、できるだけ誰もが同じ場で学べるような教育環境づくりに向けた今後の方針について教育委員会の考えを聞きました。

議会に対し意見書を提出、可決!

■ 6月定例会に際し、福岡市民クラブより3点、他会派立案の意見書3点について審議しました。それぞれの議決結果は、下記の通りです。

内 容	立 案 者	結 果
○地方財政の充実・強化を求める意見書	市民クラブ	⇒ 可 決
○教育予算の拡充を求める意見書	市民クラブ	⇒ 可 決
○少人数学級の推進と教育予算拡充を求める意見書	市民クラブ	⇒ 可 決
○信頼される政府統計を目指して更なる統計改革を求める意見書	公明党	⇒ 可 決
○歩行者の安全対策の充実を求める意見書	共産党	⇒ 可 決
○加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書	共産党	⇒ 否 決



常任委員会の新編成

議会において提案される各種議案は、議員全員で構成される会議(本会議)で最終的に決定します。その前段、少人数で専門的に審査する場として委員会が設置されています。福岡市議会では5つの常任委員会を設置しており、議員はいずれか1つの常任委員会に所属することとなっています。昨年までは、第1委員会から第5委員会までの数字の名称となっていましたが、今期より、所管する内容を名称に取り入れるとともに、所管局の編成も見直し、下記の通りとなりました。

<新たに5つの常任委員会>

名称	担当議員	所管局	主な内容
総務財政委員会	宮浦 寛 成瀬 穣美	市長室、総務企画局、財政局、市民局、会計室 他	総合計画、国際交流、財政、コミュニティ、スポーツ、防災、人権、男女共同参画など
教育こども委員会	池田 良子 ついちら 陽子	こども未来局、教育委員会	子ども育成、保育、障がい児福祉、ひとり親家庭支援、教育など
経済振興委員会	落石 俊則 井上 麻衣	経済観光文化局、農林水産局、港湾空港局、農業委員会	商工業、観光振興、空港周辺整備、文化、農林水産業、港の整備・再開発など
福祉都市委員会	○近藤 里美 山田 ゆみこ	保健福祉局、住宅都市局	社会福祉、保健衛生、住宅、建築、都市計画、交通対策、公園など
生活環境委員会	◎田中 しんすけ 田中 たかし	環境局、道路下水道局、消防局、水道局、交通局	環境、ごみリサイクル、道路、上下水道、河川、消防、地下鉄など

* ○…委員長 ○…副委員長

抱負 宮浦・成瀬のアラフィフ新人2人がフレッシュな視点で臨みます!

抱負 ベテラン母 池田と新米ママついちはらが子どもたちのためやります!

抱負 博多湾を愛する落石と最年少平成生まれ井上アペアで頑張ります!

抱負 小さな巨人コンビ、近藤・山田で人に優しい街づくりにチャレンジ!!

抱負 しんすけ&たかしのW田中です。二人で福岡の生活環境守ります!